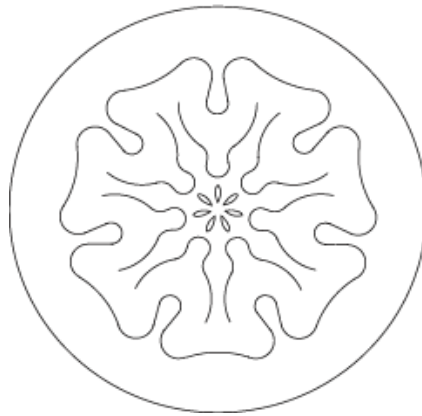


# Biographywork Japan

バイオグラフィーワーカー養成コース

## 案内書



自分を知りたければ、周囲の世界へ目を向けよ。  
世界を知りたければ、自分の内奥をみつめることだ。

ルドルフ・シュタイナー

一般社団法人バイオグラフィーワーク・ジャパン

## 一般社団法人バイオグラフィーワーク・ジャパン

### 教育プログラム バイオグラフィーワーカー養成コース

バイオグラフィーワークは、私たちひとりひとりの人生の軌跡「バイオグラフィー」に人間の存在の意義を学ぶ、自己教育のプロセスです。

はかりがたい未来へ向かってすべてが大きく動いている私たちの時代と世界。そこでは、自分を保ち続ける確かな自我の力が求められます。より人間性にみちた社会の実現を可能にするのも、自己教育によって得られる、この自我の力です。バイオグラフィーワークでは、自分自身と周囲の人々や世界を理解するための知識や方法を、グループとともに学ぶことで、自我の健全な成長を目指しています。

自他のバイオグラフィーに秘められているメッセージや経験の本質を理解するとき、これまでとはまるで違った世界が見えてきます。個人の成長と世界の進化との密接なつながりは、私たちのバイオグラフィーの中に隠されているからです。また未来への種子は、過去の経験の中に潜んでいるのです。

アントロポソフィー（人智学）の人間観と世界観に基づくソーシャルアート、バイオグラフィーワークは、2000年秋、近見富美子によって初めて日本に紹介され、その翌年のクリスマスに、バイオグラフィーワーカー養成コース第1期がスタートしました。それ以来、現在まで多様な背景を持つ参加者が養成コースで学び、バイオグラフィーワーカーとして各地で活動しています。

養成コースでは私たちの生の本質的なテーマに沿って、気づきに満ちた学びのプロセスを丁寧に辿ってゆきます。学びの道とともに歩むグループの存在に支えられ、バイオグラフィーワーカーとして必要な資質や知識を習得します。人智学の深遠な知識の実践といえるバイオグラフィーワークの学びと経験が、人と人との新しい関係に根ざす意識のコミュニティを創造してゆく力となることを願っています。

バイオグラフィーワークは、アントロポソフィー（6ページ参照）のインターナショナルセンター、ゲーテアヌム（スイス）の School of Spiritual Science, General Section に属しています。本コースは同機関により認証されています。



#### 教育プログラム ディレクター紹介

##### 近見富美子（ちかみふみこ）

1949年福岡県に誕生。大学で文化地理学を専攻したのち渡欧、20代7年間を英国と南仏で過ごす。帰国後、英語講師を経て、家族と九州の山の中に移り、有機農業に従事する。40代に再渡英。10代の日本からの留学生の教育に携わる。1995年に、サセックス州の田園に設立された「社会発展のためのセンター」で、アントロポソフィーに基づくカウンセリングとバイオグラフィーワークを学ぶ機会に恵まれる。個人と社会の健全な成長と発展を願い、2001年に日本でバイオグラフィーワーカー養成コースを開始、今日までワーカーの養成に努めている。一方、英国、フランス、台湾、インド各地でのセミナーやワークショップの経験を通して、バイオグラフィーワークの学びの普遍性と意義とともに、深まる時代の闇を確認、協働の重要性を学ぶ。

世界の養成コースリーダーの組織、インターナショナル・トレイナーズ・フォーラム創立メンバー  
一般社団法人バイオグラフィーワーク・ジャパン代表。

## バイオフィーワーカー養成コース概要

本コースはベーシック課程、ファウンデーション課程、アドヴァンス課程から構成されています(次ページ参照)。各課程修了者には一般社団法人バイオフィーワーク・ジャパンより修了証書が授与されます。養成コースの全課程修了者はバイオフィーワーカーとして地域社会でバイオフィーワークを実践することができます。

各課程で習得した知識や経験をそれぞれの仕事や生活の中に取り入れるとき、豊かな環境や関係性を築き上げることに繋がるでしょう。グループとともにバイオフィーの理解を深めるプロセスの中で、自分の人生の意味と役割が少しずつ明確になっていきます。同時に未来に向けての課題や次のステップも見えてくることでしょう。

本コースの各モジュールは、受講生がホリスティックで体験的な大人の学びのプロセスを辿ることができるよう、講義、アート&メモリーワークの個人作業、そしてグループワークをバランスよく組み合わせたプログラム構成になっています。さらにゲーテの観察術をはじめ、自分自身、および他者のバイオフィーを理解するために必要な知識や資質、ならびにグループワークのアプローチを、時間をかけて習得してゆきます。

## コース・フォーマットおよびコース日程

ベーシック課程、ファウンデーション課程は下記 A,B いずれかのコース編成で開催されています。アドヴァンス課程は、集中プログラムのみとなります。

### A 集中フォーマット

1モジュールを4日間の集中プログラム(合宿)年3回(例:4月・8月・1月)で履修各モジュールのあいだに地域ごとの一日研修があります。

### B 週末フォーマット

1モジュールを3か月、年9回で履修

(例:第1ターム(1・2・3月)、第2ターム(5・6・7月)、第3ターム(9・10・11月))

ファウンデーション課程からは一日研修が加わります。



## コーステーマ

### ■ベーシックコース 3モジュール（ベーシックコースのみの受講も可能）

バイオグラフィーワークの基本的な知識やアプローチを学ぶことで、自分自身及び周囲の人々への理解と同時に、関係性を深めることに繋がるでしょう。

#### バイオグラフィーの概要

七年周期の成長のアーキタイプはじめ、人間の成長の諸法則、ミラーリング、ルシファーとアーリマン、グループワークの方法などバイオグラフィーワークのアプローチを体験的に学んでゆきます。

### ■ファウンデーションコース 5モジュール（ベーシックコース修了が受講条件）

ベーシック課程の学びに加えて、人間の個々の有り様に働きかける様々な力に焦点を当てます。それにより人間存在への新しい見方が育ち、理解が深まるでしょう。

#### 魂に働きかける霊的諸力

人間の魂に大きく働きかけるプラネットの性質と力、ダブル、そして地上の生と死後の生とのつながりを学びます。さらに著名な人たちのバイオグラフィーを研究し、人間のスピリチュアルな側面への理解を深めます。各自、関心ある人のバイオグラフィーを研究、その発表とレポート提出をもってファウンデーションコース修了となります。

### ■アドバンスコース 8モジュール（ファウンデーションコース修了が受講条件）

アドバンスコースを修了すると、バイオグラフィーワーカーとして、連続コースやワークショップを開催することができます。リーダーとして必要な知識やスキルの習得とグループワークの経験を積みます。

前期	<b>ダイアログ（対話） 4モジュール</b> 私たちのバイオグラフィーを形作る様々な出会いや対話、その経験の背後にある貴重なメッセージを学んでゆきます。文化や時代を共有する人々だけでなく、鉱物界、自然界、さらに宇宙まで、私たちを取り巻く重層的な世界とのダイアログ（関係性）への理解を深めてゆきます。
後期	<b>12重性および統合 4モジュール</b> 地上での生を支える12の感覚、自我に力を与える12星座を通して感覚を超えた世界への理解を深めます。その上で現代社会に見え隠れする悪の力と、霊的世界の本質ともいえる善の力に向かい合うテーマ、「マニの道」で養成コース全課程の学びを修了します。後期からバイオグラフィーワーク実習に従事するほか、卒業プロジェクト発表とレポート提出が養成コース修了の条件となります。

## コース受講に必要な資質

- \* 自分と他者のバイオグラフィーに学ぶ姿勢。
- \* 社会、教育あるいは医療の諸分野の活動に従事、あるいは関心があるかた。
- \* 28歳以上（28歳以下の方はご相談ください）
- \* 心身の健康（バイオグラフィーワークには、ある程度の体力と集中力が求められます）

## 受講費（一括納入が困難な方はご相談ください）

養成コース	ベーシックコース	3モジュール	18万円
	ファウンデーションコース	5モジュール	28万円
	アドヴァンスコース	8モジュール 前期4モジュール 後期4モジュール	26万円 26万円

※コース受講費のほか別途、会場費、宿泊費（合宿の場合）がかかります。

## コース開催地

これまで東京、伊豆、名古屋、京都、福岡で開催されています。詳細はバイオグラフィーワーク・ジャパンのウェブサイト <https://biographywork.jp> をご参照ください。

なお開催地や日程の詳細は [info@biographywork.jp](mailto:info@biographywork.jp) までお問い合わせください。

## 講師グループ&アドバイザー

近見富美子をはじめとする多彩な背景と経験をもつ教育プログラムの認定講師が養成コースをリードします。さらに国内外のアントロポソフィーに基づく医療や社会・教育分野に従事する方々との交流や研鑽がコースを豊かなものにしていきます。

### バイオグラフィーワーク・ジャパン養成コース・講師紹介

近見富美子 12・13・14・15期（伊豆高原）講師  
中村かをる 12期（名古屋）・13期（東京）講師  
樋原 裕子 13期（東京）・12期（名古屋）講師  
石川 公子 14期（京都）講師

## バイオグラフィーワークのワールド・コミュニティ

世界各国で活動しているバイオグラフィーワーカーが集う世界会議は、2年に1度、世界各国で開催されています。また国際養成コースリーダー会議が毎年スイス、ドルナッハを中心に開かれ、養成コースリーダー間での経験の共有と養成コースの質の維持に努めています。



## アントロポソフィーとバイオグラフィーワーク

アントロポソフィー（人智学）は、ドイツを中心に活動したオーストリア出身のルドルフ・シュタイナー（1861-1925）によって体系化された学びの道です。彼は、霊的科学 Spiritual Science の観点から、人間のカルマや霊性に関して、20 世紀の初頭以降、ヨーロッパの多くの地で講演を続け、新しい社会意識とその実践に貢献しました。講演録や著作に残されたシュタイナーのことは数々は、当時の聴衆だけでなく、現在の私たちの魂の深みに語りかけてきます。人間は地上の住民であると同時に霊的な存在であること、そして大宇宙を反映する小宇宙としての人間の本质に目覚める時代が来たことを。

普遍的人間性（ユニヴァーサル・ヒューマニティ）というコンセプトが、はじめて歴史に登場した 15 世紀前半を、シュタイナーは「意識の時代の夜明け」とよびました。個人がその関心や洞察を意識して、探求できる時代の始まりでした。それ以来、今日までの人類の歩みは、個人化への歩みといってよいでしょう。

そして個人が自らの個性的本性を見出して行く道筋で、避けて通れないのが人の内奥に潜む根源的な問いです。「私はどこからきたのか？ この人生で何をして、そしてどこへ向かうのか？」意識の時代に生きる誰もが一度は抱くこの問い。ほかの誰でもない、自分の道を模索するこの魂の問いに、個人の、自分自身のバイオグラフィーへの意識の目覚めを見ることができます。

シュタイナーによって紹介された個人のバイオグラフィーへの新しい視点は、第2次世界大戦の悲劇を経て、その弟子たちによって体系づけられました。シュタイナーに学んだ人たちが、人間の成長のアーキタイプをはじめ、太古の叡智「神秘」を、体験的な大人の学びのプロセス、バイオグラフィーワークとして創出したのです。世界各地でいまだに続く戦争や紛争が示す破壊の道ではなく、ホリスティックで 創造的な未来への道の探求への意志と願いを込めて。

シュタイナーが伝えた個人の生の意義をバイオグラフィーワークの学びの中で実感する時、心に満ちてくる想いがあります。どんなに孤独に感じるときでも、人はたくさんの人々や霊的存在に支えられていること、そして人は、人間社会だけでなく、宇宙全体に責任がある存在であるという想いです。私たちは、目に見えない多くのつながりに気づいているでしょうか？ 責任を果たしているでしょうか？

### 一般社団法人バイオグラフィーワーク・ジャパン

一般社団法人バイオグラフィーワーク・ジャパンは、バイオグラフィーワークの充実と教育プログラムの健全な発展を目的に 2012 年 12 月に創設されました。教育プログラムでは、バイオグラフィーワーカー養成コースに加えて、人智学に基づいた心理カウンセリングをはじめ、人間の成長や現代社会の諸課題の理解につながるプログラムを開催しています。

代表 近見富美子（理事、教育プログラムディレクター）  
教育プログラムのお問合せ先 [info@biographywork.jp](mailto:info@biographywork.jp)  
バイオグラフィーワーク・ジャパン <https://biographywork.jp>  
一般社団法人 会社法人等番号 1800-05-014982